

第3回定例会

平成21年度一般会計ほか4特別会計決算を認定

- ・一般会計〔歳入〕 61億5,515万8,389円 〔歳出〕 59億6,411万2,276円
- ・特別会計〔歳入〕 7億4,137万1,220円 〔歳出〕 7億3,911万4,202円

健全財政を貫く（健全化判断比率を公表）

平成22年第3回定例会は9月6日に開会し、一般質問に4議員が登壇、過疎地域自立促進計画1件、平成22年度補正予算2件、人事案件2件、平成21年度決算の認定5件（特別委員会に付託）、意見書案4件など、計14件を審議、原案どおり可決承認し、9月13日に閉会した。

過疎計画の認定

今までの過疎地域自立促進特別措置法は平成21年度末で終了することから、平成22年3月10日議員立法で新たに制定された。本町も新十津川町過疎地域自立促進計画を策定し、総合計画に基づくまちづくりを円滑に進めるべく制定する。期間は平成22年度から平成27年度までとなる。

補正予算

〔一般会計〕

歳入歳出それぞれ3,401万1千円を追加し、総額を54億2,158万4千円とした。主な補正内容は次のとおり。

▼総務費

・新十津川町第5次総合計画策定事業 112万9千円

（計画策定調査・分析経費）

・町有林保育管理事業

529万2千円

（町有林17ha保育間伐など）

・税等還付金

111万円

（平成21年度国・道からの補助金等精算に係る還付金）

・確定申告受付システム等整備事業

584万3千円

（システム整備）

▼衛生費

・インフルエンザ予防接種事業

260万7千円

（ワクチン接種助成）

・中・北空知廃棄物処理広域連合負担金

252万2千円

（可燃ごみ処理施設建設）

▼農林水産業費

・中産間地域等直接支払交付金事業

487万2千円

（対象農地面積の増加）

▼土木費

・住宅・建築物安全ストック形成事業

386万4千円

（公共施設の耐震・改修計画策定）

▼公債費

・地方債償還元金

410万円

（平成21年度借入金の一部繰上償還）

（国民健康保険特別会計）

歳入歳出それぞれ63万円を追加し、総額を3億864万6千円とした。主な補正内容は次のとおり。

▼総務費

・国保総務事務

63万円

（国保連合会とのオンライン化に伴う改修費用）

決算の認定

平成21年度一般会計歳入歳出決算ほか4特別会計歳入歳出決算の認定については、決算特別委員会に付託され審議の結果、委員会報告のとおり認定した。（一般会計ほか4特別会計併せて1億9,330万3千円の黒字となった。）

▼賛否の状況

認定賛成議員 10名
認定反対議員 1名